

安倍9条改憲NO！ 改憲発議に反対する全国緊急署名 各地でこんな取り組みが 改題② 2020年2月28日

安倍9条改憲NO！全国市民アクション 連絡先 ☎03-3221-4668

岩手県 緊急署名キックオフ集會に380人 盛岡市でアクション岩手の会

安倍9条改憲NO！全国市民アクション岩手の会は2月16日、「STOP改憲発議！緊急署名キックオフ集會」を開催。同集會には県内各地から380人が参加しました。

加藤善正岩手県生協連顧問が「安倍改憲発議を阻止するためにも、安倍政権に代わる野党連合政権を実現するためにも緊急署名の取り組みは重要」とあいさつ。行動提起をおこなった吉田敏恵県生協連専務理事が「今年は発議を許すかどうかの正念場、毎月19日のデモ行進の継続、そして緊急署名は10万人集めよう」と強調しました。

集會には野党統一で参院議員となった国民民主党の木戸口英司氏、日本共産党岩手県委員会副委員長の斉藤信県議、社民党県連合代表の小西和子代表が参加し、連帯あいさつを述べました。達増拓也県知事、横澤高德参院議員（統一候補・国民民主党）、立憲民主党県連合などから寄せられたメッセージが紹介されました。

講演した浅倉むつ子早稲田大学名誉教授は、「安倍改憲でねらわれているのは、戦後の日本をつくってきた9条と24条に込められた非暴力だ」と指摘しました。

新潟県 発議許さぬ正念場、署名スタート集會 市民アクション@新潟

安倍改憲NO！全国市民アクション@新潟は2月15日、新潟市内で改憲発議に反対する全国緊急署名新潟県スタート集會を開きました。同集會には230人が参加しました。

集會では全国市民アクション・総がかり行動実行委員会の高田健共同代表が講演。高田氏は、安倍首相が任期中の改憲を繰り返し表明する下、これからの1年半が改憲発議や改憲のための国民投票を許すかどうかの正念場となる、新しい署名で地域・草の根の力を発揮して安倍改憲の息の根を止めようと呼びかけました。また新署名による対話運動は、地域での市民と野党の共闘、市民連合などの運動の底力となると述べ、署名運動を大規模に取り組むことを訴えました。

活動交流では、「3月末を節に、共同を深化させ、署名に取り組む」（新発田）、「3000万人署名で2万の目標を突破した。この自信と勢いで政権を追い詰めた」（柏崎・刈羽）、「オール野党でスタンディングを継続してきたことが成果につながった。多様性を大切に取り組んでいきたい」（新潟市西区）などの報告が交わされました。

行動提起では、各地域でのスタート集會の開催に取り組むことや街頭・戸別訪問など多様な内容での署名行動を推進しようと呼びかけられました。

埼玉県 改憲発議NO！緊急集會で署名意思統一 さいたま市浦和区市民集會

改憲発議NO！緊急浦和区市民集會が2月15日行われました。集會には67人が参加しました。武正公一立憲民主党衆院議員、梅村さえ子日本共産党前衆院議員、中島修身社民党県連合副幹事長が出席し、あいさつを述べました。

渡辺政成県憲法会議事務局次長が講演しました。渡辺氏は、「オール埼玉総行動」や昨年の大野元裕県知事の誕生など市民の共闘、市民と野党の共同の取り組みと成果を全国に発信し、歓迎されていることを紹介。安倍改憲を阻止するために、「不断の努力」を発揮するうえでも「改憲発議に反対する全国緊急署名」の取り組みの重要性を強調しました。

愛知県 改憲発議阻止へ 署名推進の集会 あいち市民アクション

安倍9条改憲NO！あいち市民アクションは2月24日、名古屋市中区で「安倍9条改憲NO！ 改憲発議に反対する全国緊急署名」を推進しようと集会を開催しました。集会には全県から約300人が参加しました。

集会では、半田滋さん（東京新聞論説兼編集委員）が、「安保法制下の自衛隊一踏み越える専守防衛」をテーマに講演しました。交流では「南スーダン派兵部隊の司令部のある地域で活動している。自衛隊員の命を守る思いで署名運動をやっている」（守山市民アクション）、「『アベ政治を許さない』のスタンディングを労組・市民団体の共同で取り組み、集会や署名・宣伝行動を進めている」（安倍9条改憲に反対する西三河ネットワーク）、「中学校区単位で町内会役員や著名人に呼びかけ人になってもらい、署名を推進」（一宮市民アクション）、などの経験や決意が報告されました。

北海道 氷点下の札幌駅前 200人で署名アピール 北海道総がかり

2月19日、全国の19日行動に呼応して、北海道では札幌駅前**北海道総がかり行動**が発議反対署名を呼びかけました。

この日の行動には約200人が参加、横断幕（「改憲とめる 平和をまもる」）やプラカードをかかげてアピール。長田秀樹北海道平和フォーラム代表や小室正範北海道憲法共同センター事務局長、清末愛砂室蘭工大准教授らがスピーチしました。

青森県 弘前市で女性たちが署名宣伝行動 日本共産党津軽女性後援会

日本共産党津軽女性後援会は2月19日、雪が舞う弘前市内で署名宣伝行動を取り組みました。横断幕やプラスターを掲げ、リレートークで市民に訴えました。新型コロナウイルス肺炎に対する政府の対応が世界から批判されていることや、消費税増税で景気がいっそう悪くなっていること、安倍改憲発議NO！の署名に協力して、安倍政権に怒りの声をあげようなどの訴えに、市民や客待ちのタクシードライバーらが耳を傾けていました。

岩手県 「桜」、中東派兵の危険訴え緊急署名行動 岩手県共同センターなど

平和憲法を守る河南の会と憲法改悪反対岩手県共同センターは2月19日、盛岡市内で改憲発議反対全国緊急署名を訴えました。安倍9条改憲の賛否を問うシール投票も行いました。

「桜」のウソを言い続ける安倍政権の批判や中東への自衛隊派兵で戦争に加担すること、自衛隊員の命に係わる危険を訴えました。憲法については、緊急署名で国民が声をあげ、安倍政権による改憲発議を断念させようと訴えました。市民が次つぎ署名に応じました。シール投票では、若者らがシールを張って投票に参加しました。41人が「反対」、「賛成」は3人でした。

山形県 高校生も次つぎ署名 山形駅前 やまがた県民の会

安倍改憲NO！やまがた県民の会は2月19日、JR山形駅前で14人の参加で宣伝署名行動を取り組みました。勝見忍山形県労連議長や高橋朗山形県平和センター事務局長らの訴えに市民が次つぎ署名に応じました。高校3年の男子生徒は「戦争をしないというのが憲法9条だと学習した。1票を大切に選挙権を行使したい」と署名、連れだった女子高校生が「9条を変えてはいけない」と署名しました。30代の女性は「集団的自衛権の行使や武器輸出が本格化している中で、9条が変えられたらどうなるか、戦争する国になり、戦前のようにものが言えなくなる」と不安の面持ちで署名しました

福島県 33回目のスタンディング行動で署名訴え 改憲阻止福島県連絡会

改憲阻止福島県連絡会は2月19日、福島市内で宣伝、改憲発議に反対する緊急署名への協力を訴えました。安保法制の強行採決後から始めた行動は、この日33回目となりました。「憲法を変えさせないようよろしくお願いします」と署名した後丁寧にお辞儀をして去った70歳代の女性もいました。

新潟県 スタート集会後初の街頭行動、50人が署名訴え 市民アクション@新潟

安倍改憲NO！全国市民アクション@新潟は、2月15日の県署名スタート集会後の最初となり、「19日の国会行動」に呼応する2月19日昼、新潟市古町商店街で街頭宣伝を行いました。行動には50人が参加しました。

齋藤悦男県平和運動センター議長、赤井純治県原水協代表理事、酢山省三憲法会議事務局長、小林雄太民青同盟県委員長、村田峻一社民党県連合青年部副部長らが次つぎマイクで署名を訴えました。

訴えに応え、署名する人たちが続きました。署名をした人は、「安倍さんはもういい加減にしてほしい」「安倍政権に怒っている。新潟でもデモをやってほしい」などと語りました。

三重県 戦争法廃止、改憲発議反対で19日行動 津市

憲法共同センター・みえ、憲法を守りいかすみんなの会・津は2月19日、津市まん中広場前で、戦争法廃止、安倍9条改憲反対の宣伝を取り組み、改憲発議反対緊急署名を訴えました。行動には両団体の呼びかけ人ら8人が参加しました。

署名に協力した人たちは、「安倍首相の国会答弁はひどい、早く辞めさせたい」「安倍首相の答弁は何だ、恥ずかしい。子どもたちには見せられない」「安倍さんのウソは明らか。正直に言って辞めるべき」などと口々に語りました。

京都府 毎月の定例デモに400人 市役所前で緊急署名呼びかけ 3団体

2月19日、**戦争をさせない1000人委員会京都連絡会、京都憲法共同センター、市民アクション@きょうと**が呼びかけた19日定例の京都市内繁華街をめぐるデモ行進が400人の参加で行われました。京都市役所前の集会では、改憲発議反対緊急署名運動、辺野古新基地建設反対の運動、新型コロナウイルス肺炎対策問題などについて市民団体代表、議員らがスピーチしました。

このなかで京都憲法共同センター・自由法曹団京都支部長の小笠原伸児弁護士は、「3000万人署名運動と野党共闘が改憲論議を止めてきた。改憲の息の根を止めるために全国の仲間たちと一っしょに改憲発議反対緊急署名に取り組もう」と訴えました。

奈良県 19日行動、奈良駅前で発議反対緊急署名を呼びかけ 共同センター

憲法9条守れ！奈良県共同センターは2月19日夕、JR奈良駅前で改憲発議に反対する全国緊急署名を呼びかける宣伝を行いました。同センターの菊池高波事務局長らの訴えに応え、「政治家を縛るべき憲法を縛られる側の安倍さんが変えたいなどというのはおかしい」「奈良県民でなくても署名してもいいね」などと署名しました。

滋賀県 緊急署名行動県内各地で 市民アクション・滋賀が呼びかけ

安倍9条改憲NO！市民アクション・滋賀が呼びかけた2月19日の宣伝・署名行動は県内10カ所で行われました。

このうち大津市のJR石山駅前の行動には、県労連、原水協、平和委員会などのメンバーが参加。チラシを配布し、緊急署名を訴えました。勤め帰りの労働者らが署名に応じました。

39歳の女性は、署名するなかで「安倍首相は危ない。日本の平和に危機を感じる」語りました。

徳島県 リレートークで緊急署名訴え 徳島憲法共同センター

徳島県憲法共同センターは2月19日、徳島駅前で行った宣伝、改憲発議反対緊急署名を呼びかけました。リレートークでは自衛隊の中東派兵は9条を持つ日本がやるべきことではないことや新型コロナウイルス感染対策の強化なども訴えられ、緊急署名への協力が呼びかけられました。

福岡県 「世界に誇れる平和憲法を守ろう」 飯塚市・嘉飯山実行委員会

飯塚市の市民有志でつくる**許さんバイ嘉飯山実行委員会**は2月19日、市内で行った宣伝・署名に取り組みました。「世界に誇れる平和憲法を守り抜こう」の横断幕、のぼりを掲げ、安倍政権の退陣を訴えるとともに、改憲発議反対緊急署名を呼びかけました。